



欲しいモノ 何でもそろえよう  
**Growing Navi**  
産業とくらしの情報プラットフォーム

# YUASA REPORT 141

第141期

2019年4月1日から  
2019年9月30日まで

ともに考える。

ともに悩む。

ともに前を向く。

ともに汗をかく

ともに成長し、ともに笑う。

それが私たちの流儀。



# Growing Together

ともに挑む。



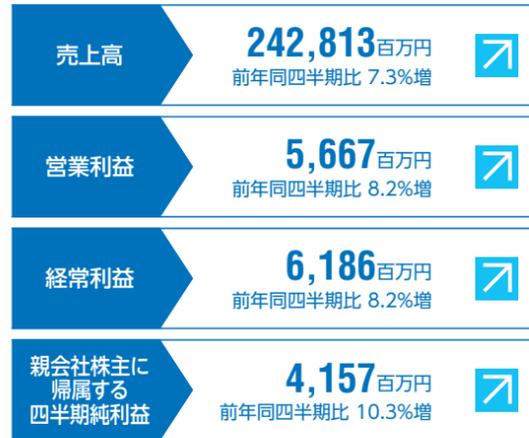
ユアサ商事株式会社

証券コード：8074

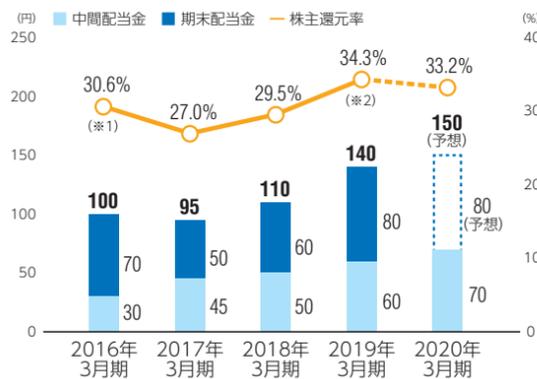
# 「ユアサビジョン360」第2ステージ (次期中期経営計画) に向けて

代表取締役社長 **田村博之**

2020年3月期第2四半期 経営成績



1株当たり配当金と株主還元率の推移



※1 創業350周年記念配当25円含む。記念配当除いた還元率は23.0%  
 ※2 設立100周年記念配当10円含む。記念配当除いた還元率は31.8%

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

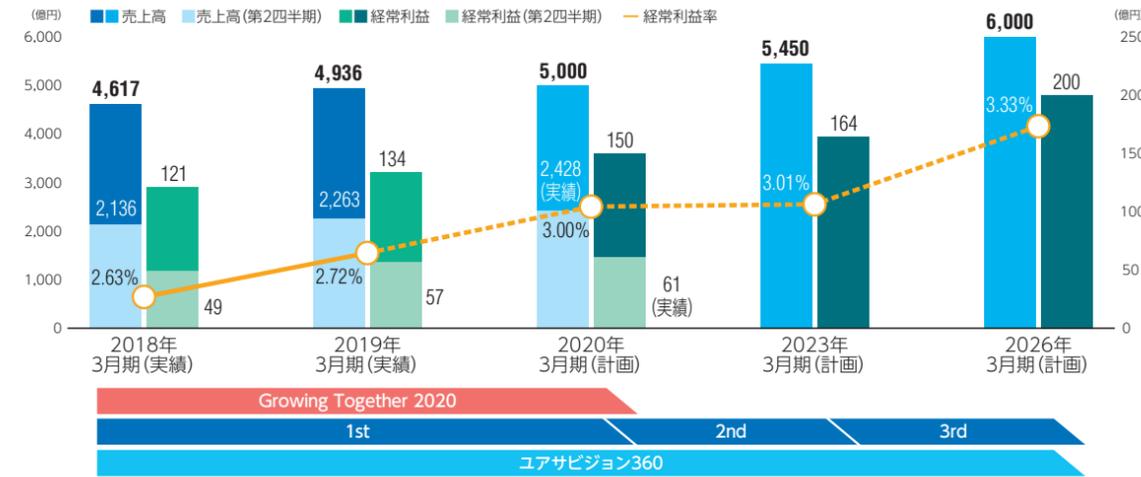
当社グループは、2026年（創業360周年）のあるべき姿として、業界トップレベルの収益構造を持つ複合専門商社グループに成長することを目指す「ユアサビジョン360」を策定し、その第1ステージとなる3か年の中期経営計画「Growing Together 2020」にグループ全社一丸となり取り組んでまいりました。

当第2四半期は第1ステージの総仕上げに向けて、「コア事業の機能強化」、「経営基盤の強化」、「成長事業の再強化」を再加速するとともに、エンジニアリング機能やロジスティクス機能の強化、挑戦する企業風土の醸成、組織再編など、第2ステージ（次期中期経営計画）に向けた体制強化に努めました。

「海外事業」では、現地での展示会出展やプライベートショーなど積極的な開催を通じ、現地資本企業の取引拡大を進めました。「ロボ (AI) & IoT事業」では、生産ラインの自動化ニーズに応える産業用ロボットなどの

## 長期ビジョンと中期経営計画

「ユアサビジョン360」2026年（創業360周年）のビジョン  
**業界トップレベルの収益構造を持つ複合専門商社グループへの成長を目指します。**



2020年3月期 業績予想



販売に注力するとともに、Society5.0時代を見据えたIoTやAI対応機器の提案を行いました。「環境・エネルギーソリューション事業」では学校向けの空調設備導入に加え、太陽光発電の自家消費モデルへの転換や停電対策としての蓄電池システムなどの販売を強化いたしました。また、環境対策のソリューション部署が効果的に機能し、省エネ設備導入をサポートする国の補助金事業では前期を上回る成果を残すことができました。「レジリエンス&セキュリティ事業」では、甚大化する自然災害に対応すべく防災・減災対策を提案するとともに、災害発生時には

当社のネットワークを駆使し、必要な物資や商品を迅速にお届けすることができました。

また、農業や介護・医療などの新市場につきましても、当社が長年コアビジネスで培ったノウハウで人手不足や高齢化といった課題解決の提案を行ってまいりました。これらの新市場では、第2ステージ（次期中期経営計画）において新たな事業の柱に成長させたいと考えております。

これらの結果、当第2四半期の売上高は7.3%の増収、経常利益は8.2%、四半期純利益は10.3%の増益となりました。第2四半期の決算といたしましては、売上高は

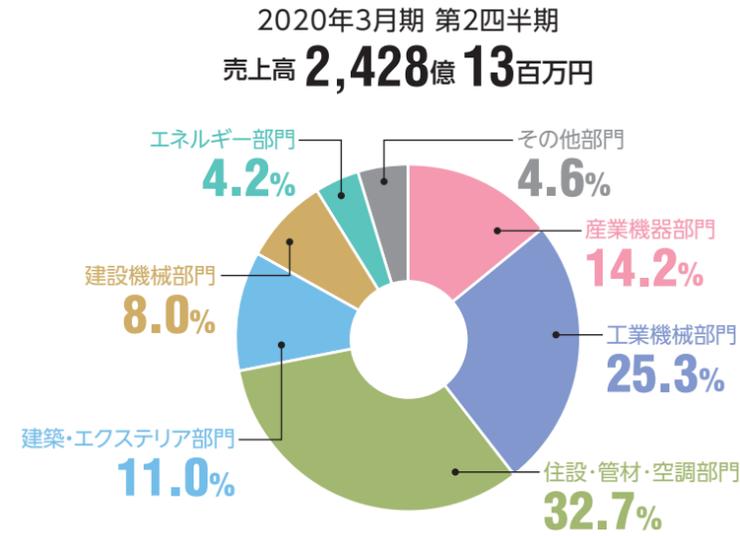
3年連続の増収、利益面では3年連続で過去最高益を更新いたしました。

2020年3月期の中間配当金につきましては、期初の予想通り1株当たり70円とさせていただきます。期末配当金につきましては、1株当たり80円、中間配当と合わせて年間150円（株主還元率33.2%）を予定しております。引き続き継続かつ安定的な配当実現に向け、全力で取り組む所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒相変わりがせぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## セグメント別の概況

セグメント別売上高構成比



### 産業機器部門

売上高

**345億28百万円**

前年同四半期比 3.3%減

自動車や食品関連産業を中心に工場稼働率は引き続き底堅さを維持し、自動化・省力化機器、切削工具、測定器具、制御機器などの需要が堅調に推移。一方、中国市場向けを中心に半導体やスマートフォン関連産業などは、需要の減速が継続。



### 工業機械部門

売上高

**614億84百万円**

前年同四半期比 8.7%増

国内では、自動車や半導体関連産業を中心に設備投資に弱い動きがみられ受注環境は低調に推移した一方、自動運転やEV関連、鉄道などのインフラ関連、医療、食品分野向けの受注は堅調に推移。海外では、米中貿易摩擦の長期化による影響で、中国、北米で設備投資に慎重な姿勢がみられたが、インド、インドネシアの二輪車関連産業の設備投資が堅調に推移。



### 住設・管材・空調部門

売上高

**793億48百万円**

前年同四半期比 12.3%増

マンション、戸建住宅のリフォーム需要や消費税増税を見据えた需要増加により、住宅設備機器の販売が伸長。空調機器の販売も学校関連施設に加え、ビルのリニューアル需要などにより好調を維持。また、新エネルギー関連商品においても、蓄電池やパワーコンディショナなどの周辺機器の需要が堅調に推移。



### 建築・エクステリア部門

売上高

**267億42百万円**

前年同四半期比 10.6%増

オリンピック・パラリンピック施設整備や都市部を中心とした再開発事業などのビル・マンション・ホテル向けの金属建材需要及び商業・物流施設向けの景観エクステリア商材やインフラ関連需要は堅調に推移。また、自然災害や自動車事故などの社会問題への対応によるフェンス・ガードレールなどのエクステリア商材や消費税増税前の需要増による物置などの販売に伸長がみられた。



### 建設機械部門

売上高

**193億22百万円**

前年同四半期比 22.4%増

インフラ整備、災害復旧・復興工事などの公共工事や都市部を中心とした再開発事業により建設機械需要が伸長するとともに、消費税増税を見据えた需要もみられ、当社主力のレンタル業者向け小型建設機械の設備投資需要は堅調に推移。



### エネルギー部門

売上高

**102億71百万円**

前年同四半期比 10.2%減

低燃費車の普及などにより石油製品の需要減少の中、石油元売事業者の再編の影響や石油製品価格のゆるやかな下落などにより市場環境の変化が継続。



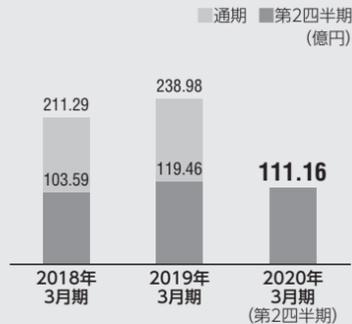
### その他部門

売上高

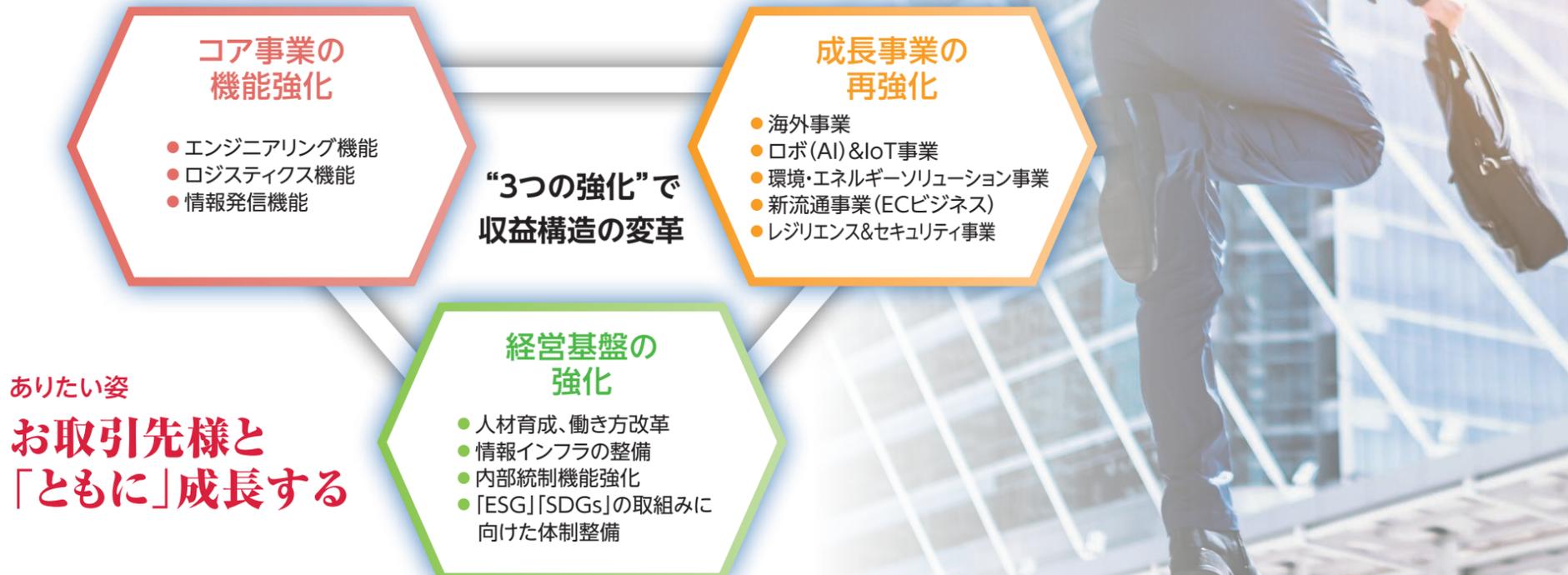
**111億16百万円**

前年同四半期比 6.9%減

消費材事業では、夏物季節家電の販売は長雨の影響などを受けたが、生活家電を中心に新商品を投入するとともに、ECサイト事業拡大に注力。一方、木材事業では、フロア関連資材と住宅用輸入製材の販売は堅調に推移したものの、国内における輸入合板及び梱包材市場は、需要が低迷し厳しい販売状況となった。



# 中期経営計画「Growing Together 2020」最終年度の進捗状況



ありたい姿  
**お取引先様と「ともに」成長する**

## コア事業の機能強化

### ロジスティクス&EC機能強化 (中部物流センター移転)

**目的**

- 増床による品揃えの充実、中部地区における当日配送エリアの拡大
- ECサイト「Growing Navi」即納対応品の充実



▶ロジクス名古屋笠寺 (愛知県名古屋南区) 業務開始: 2019年8月26日〜

### ワンストップ&コーディネート機能強化 (地域ブロック制組織の導入)

**目的**

- 地域戦略の強化(ブロック-支社支店-営業部(PC)が一体となった地域戦略の実行)
- タテ(営業本部)+ヨコ(地域ブロック)+機能子会社による総合力発揮



▶全国の課長クラス (No.2) が集まり合宿研修を実施し総合力発揮に向けた施策プログラムを作成 (2019年4月12〜13日)

### エンジニアリング機能強化 (営業統括組織の活用)

**目的**

- 全国の営業部門をワンストップでサポートする機能組織を作り、新事業創出、工場ラインや建物全てのトータル受注拡大を促進
- グループ内有資格者を活かした付加価値提案



▶技術支援室の施工物件

## 成長事業の再強化

### 海外事業

東南アジア・北米エリアでの新商品&新機能展開により、生産財の輸出事業を拡大します。

### 現地資本企業への販売と独自機能の発揮

#### 工業分野

#### ▶現地資本企業への拡販取組強化

アジア各国において展示会出展やプライベートショーを実施し現地資本企業への販売拡大を図っています。



#### 住環境分野

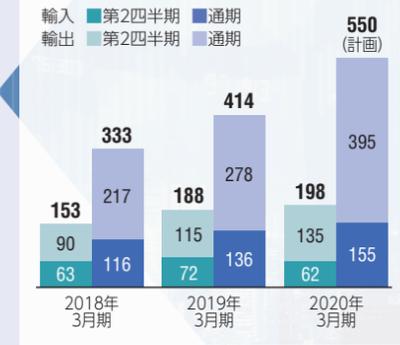
#### ▶労働環境改善と省エネの両立

タイの衣料関連工場において、膨大なコストがかかる空調ではなく、気化式冷風機を提案・導入。暑かった工場内が涼しくなり、従業員の定着率が向上し、製品品質の安定につながりました。



解決すべき課題

### 海外事業 売上高 (工業・住環境・建設)



### ●前半期の取組実績

- 工業**
  - 現地資本企業への販売拡大 → 受注実績は前年比2.6倍 (4~9月)
  - インドでの排ガス規制対応設備提案
- 住環境**
  - 東南アジアでの省エネ設備提案
- 建設**
  - ミニショベルの販売エリア拡大

### ●継続提案

- 工業**
  - 現地資本企業への販売拡大
- 住環境**
  - ベトナム事業の強化
- 建設**
  - 東南アジアにおける建機販売
  - ミャンマー進出を目指した取組み

## ロボ(AI)&IoT事業

システムインテグレーション機能をさらに強化し、各分野においてロボ(AI) & IoTによるソリューション営業を展開します。

### 様々な分野におけるロボットの活用を提案

- ▶展示会を通じ、様々なジャンルにおけるロボットを提案
- ▶Society5.0時代を見据えた、機器(IoT・AI対応)の提案
- ▶自律走行型協働ロボットを提案



▲小型協働ロボット



▲スマモ リモコン電動草刈り機



▲スマートフォンと連動したガスコンロ

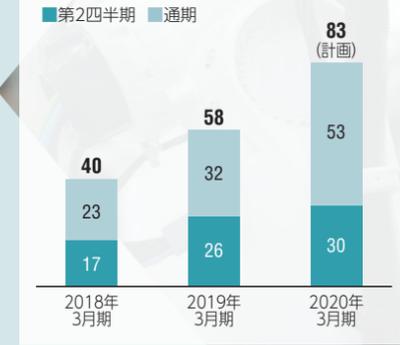


▲健康状態をアドバイスするスマートミラー



▶自律走行型協働ロボットを提案

### ロボ(AI) & IoT事業 売上高



### ●今期の強化ポイント

- ロボットインストラクターの養成
- Sierデータベースの再構築(国内外)
- ものづくり分野、建設現場、農業現場などで活躍するロボットを多数提案

### ●継続提案

- Society5.0に対応した機器の提案
- ロボットエンジニアリング機能(システム提案・設計・構築・アフターサービス)強化
- 複数のジャンルにおける、オリジナルロボットの共同研究・開発

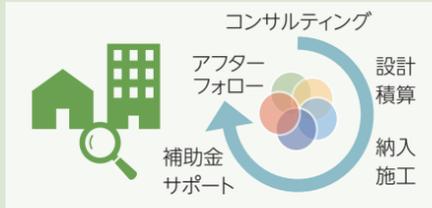
成長事業の再強化



環境・エネルギーソリューション事業

地球環境に貢献する機器やシステムを国内外に販売・普及させ、環境事業を強力に推進します。

工場・店舗・オフィスなどの省エネ・環境対策ソリューションをワンストップ提案



学校向け空調設備更新提案



出典:文部科学省ホームページ <http://www.mext.go.jp/>

解決すべき課題

環境・エネルギーソリューション事業売上高



●今期の強化ポイント

- 省エネに対するコンサルティングから補助金の活用やアフターフォローをワンストップで提案する部署を全国展開

●継続提案

- オリジナルPVパッケージ提案 (蓄電機能付き)
- 卒FIT・災害対応蓄電池提案
- 農業ルート向け太陽熱温水システム提案
- 納入リストを活用した空調リプレイス提案
- 企業のESG・SDGsに対応したソリューション

レジリエンス&セキュリティ事業

技術のコーディネーターとして未来の街づくりの提案を強化していきます。

技術のコーディネーターとしてレジリエントな街づくりを提案

▶自然災害(水害)への備え



▲当社が提案・納入した自動浮力止水板

解決すべき課題



▲台風19号(2019年10月)上陸直後には当社が在庫する災害対策・支援用品のリストを全国の取引先に配布 (Growing Naviにも専用サイトを設置)

レジリエンス&セキュリティ事業売上高



●今期の強化ポイント

- 防災商品や減災商品の充実
- BCP対策の提案
- 社内レジリエンスリーダーなどの人材育成

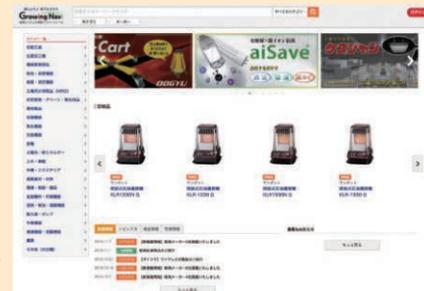
●継続提案

- マンション、公共施設、空港等に対する水害対策商品の継続提案

新流通事業

ITを活用した情報発信機能を強化し、販売先様との電子商取引事業を拡大します。

必要な時、必要なものをお届けする双方向プラットフォーム



▶PV数の高い即納品をトップページに配置

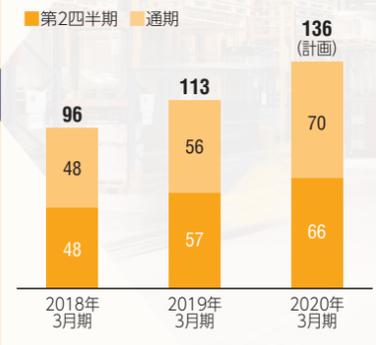


▶Web-DMの定期配信

解決すべき課題

Growing Navi

新流通事業売上高



Growing Navi開設時からの推移

指標	2018年6月	2019年9月
掲載メーカー数	300社	533社
掲載商品点数	200万点	246万点

●今期の強化ポイント

- 即納品(当日出荷可能品)品揃え充実

●継続提案

- Web-DMやキャンペーンを通じた情報発信

新分野開拓

人手不足&高齢化の社会課題解決に向け当社グループのノウハウを発揮します

農業分野

農業従事者の負担軽減と効率的な農業を提案しています。

▶農業法人の生産性向上につながる自動化システムや農業資材を提案しています



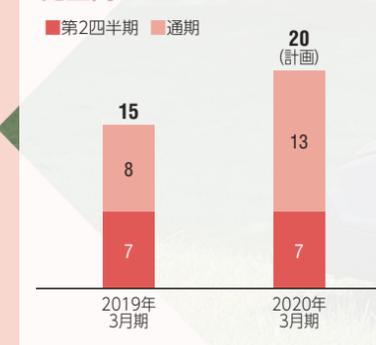
▶収穫の人手不足に対応するハウレン草収穫ロボット

解決すべき課題



▶ハウス内の浮遊菌に効果を発揮する抗菌照明aiSave(アイセーブ)

農業分野売上高



●取扱い商品

- 農地を利用したソーラーシェアリング
- 多機能ロボット
- 収納型コンベア
- ハウス内高所作業車
- パイプ台車
- ミニクレーン
- シャワートイレ付倉庫

など

新分野開拓

介護・医療分野

高齢化社会の快適な暮らしを提案しています。

▶ 高齢化社会を支える最新機器を提案しています



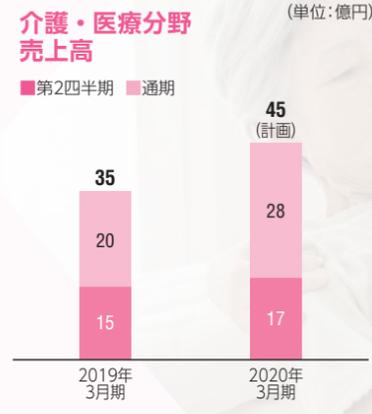
▲ 10万円台のアシストスーツ「マッスルスーツEvery (エブリイ)」



▲ 移乗介護の負担を軽減する「リフトキャリアwells (ウェルス)」

解決すべき課題

介護・医療分野  
売上高



● 取扱い商品

- 介護・医療施設への快適な空調整備
- 負担軽減する介護用ロボット (アシストスーツ、アシストウォーカー)
- 介護用ベッド、家具、トイレ
- オルゴール など

経営基盤の強化

人材育成・風土改革

ダイバーシティ推進

- 2019年度くるみん(子育て支援企業)認定
- 女性一般職の資格取得支援制度
- 日本にきている留学生の採用
- 現地法人の社長に外国籍社員を登用

チャレンジを高く評価する  
制度運用開始

- チャレンジ企画書
- 新事業提案
- など



▲ 新事業提案選考会

顧客・商品・機能・管理強化

本部長会議 × ブロック長  
会議

- 部門、地域を横断した情報共有
- 商品戦略と顧客戦略の更なる融合
- 地域をより意識した商品戦略強化



物流機能強化

ロジスティクス戦略室の  
設置

- 全国の物流ネットワークの一元管理
- 中部物流センターの移転
- 当日配送エリアの拡大



▲ 新中部物流センター



次期中期経営計画につながる  
経営基盤の強化

2019年6月 第140回定時株主総会で当社初の女性社外取締役が就任



社外取締役

戸谷 圭子

プロフィール

- 1999年 7月 (株)マーケティング・エクセレンス マネージング・ディレクター(現任)
- 2006年 4月 東洋大学経営学部専任講師(2007年3月退任)
- 2007年 4月 同志社大学専門職大学院ビジネス研究科准教授(2014年3月退任)
- 2010年 4月 中央大学専門職大学院ビジネススクール兼任講師(現任)
- 2014年 4月 国立研究開発法人産業技術総合研究所人間情報研究部門(現人間拡張研究センター) 客員研究員(現任)
- 2014年 4月 明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科専任教授(現任)
- 2014年10月 日本学術会議 連携会員(現任)

新任女性社外取締役のメッセージ

現在、世界中でサステナビリティが叫ばれています。企業活動も例外ではありません。日本は100年以上存続する企業が世界最多で、今後その経営は世界から再び注目を浴びることになるでしょう。

当社は東証一部上場の300年以上の歴史を誇る長寿企業という稀有な存在として、社会的責務を負っています。その取締役会は、当社の企業理念を堅持しながらも柔軟かつ大胆な変革を行い、この稀有な存在を将来にわたって維持する意思決定の場となります。そのため、企業評価における非財務指標の重視や、女性社員の活躍、データサイエンスなど、経済・社会・技術動向への感度を高め、経営に迅速に反映していくことが必須です。特に、BtoB市場の情報の宝庫である当社は、その知識を活かして、単なるモノの売上の仲介ではなく、コト(サービス)を通じて「共創価値」を創造し、クライアント企業、さらにはその先にいる企業・消費者、社会に価値を提供していくことが可能です。

長くサービスに携わってきた社外取締役として、当社のそういった活動に、出来る限り貢献していきたいと思っています。

ガバナンス諮問委員会を設置

取締役会において決議される重要な事項に関する手続きの公正性・透明性・客観性を向上させ、より一層のガバナンス強化を図ることを目的としてガバナンス諮問委員会を設置いたしました。取締役会から諮問を受けた、(1) 取締役の選任及び解任に関する事項 (2) 取締役の報酬等に関する事項 (3) 取締役会全体の実効性に関する分析・評価並びにその他ガバナンス関連議案に関する事項の3つについて審議し、取締役会に答申することを役割とします。

ガバナンス諮問委員会の構成



# グランドフェア2019

全国5会場にて**61,289名**様がご来場！  
受注高 **1,346億円**は過去最高！

2019年7月から9月までの期間に、関東、東北、九州、関西、中部の5会場において実施。  
今回のグランドフェアは、テーマを『Growing Together ～ともに新しい未来へ～』とし、産業とくらしに関する幅広い分野の多岐にわたる商品をご紹介します、実演や体験可能な展示を多数ご用意いたしました。



## SDGsとグランドフェアについて

「産業とくらしのグランドフェア2019」では、「SDGs」で示された「17の目標と169のターゲット」を大きなビジネスチャンスと捉え、幅広い提案活動と事業展開を通じ、経済成長、社会課題の解決、環境保全がバランスよく達成された持続可能な社会の実現への貢献を目指しました。



## テーマゾーン2019のご紹介

「発見」「体験」「創造」をキーワードに6つのテーマゾーンを展開し、様々な課題を解決する製品をご紹介します。最先端の技術とネットワークを集結し、“これからの未来”を感じていただける現場（シーン）を再現しました。

### 次世代のものづくりゾーン

製造現場の一連の流れを再現し、“自動化・省力化”をテーマに課題解決策をご提案



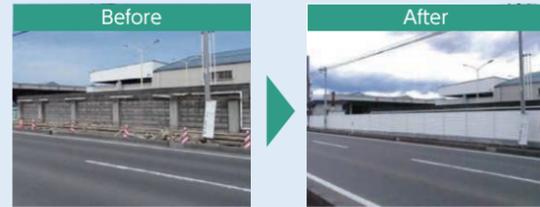
### 未来のくらしゾーン

日常生活に直結した省エネや快適性の向上をはかる製品をご提案



### これからのまちづくりゾーン

「社会問題解決」をコンセプトに、建設現場・工場・屋外空間において、安全性や快適性をご提供できる商品をご提案



### スマートアグリゾーン

“持続可能な農業”をテーマに効率化や労働環境の改善を行う商品をご提案



▶ ロボット芝刈機

### ヘルスケアゾーン

高齢化社会に向けて日頃の健康管理や介護現場をサポートする商品をご提案



▶ 体組成計

### ソリューションゾーン

“BCP対策”を中心に、社会が直面する様々な問題の解決策をご提案



▶ カセットボンベで電気をつくる発電機

## PICKUP

「最先端技術」や「新たな商品」における様々な利用シーンをご提案！



### VR

3DCGソフトウェア技術を核として、VRヘッドマウントディスプレイによる360度仮想現実空間の制作・閲覧・編集を行えるようにした「メガソフトVRソリューション」を使用し、工事・土木現場や住空間、医療空間などをVRでご体感いただきました。



### 生体認証

高精度の顔認証技術を活かしたAI骨格認識ソリューションをご提案しました。通行料調査、滞留時間計測、動作検知などを応用し様々な用途を検討し、より安全で便利な社会の実現に役立ててまいります。



## TOPICS

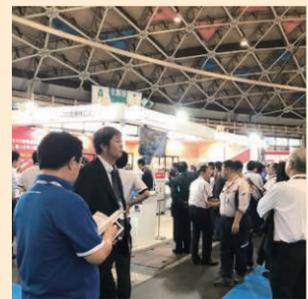
### 農業Week2019に出展

第9回農業Week内の「次世代農業EXPO」に出展しました。農業法人や農協、植物工場事業者などの業種の方が来場される中、次世代農業と省人化・省力化を最新の商品でご提案しました。①大規模農業法人の生産性向上、②草刈りの自動化による負担軽減、③ハウス内の水耕栽培施設や搬送の自動化をコンセプトに水耕栽培システムやハウス栽培用エアコン、用途別の草刈り機、電動アシストクレーンなどの商品を多くのお客様に紹介することが出来ました。



### メカトロテックジャパン2019に出展

1987年にスタートした2019年国内最大級の工作機械見本市である「メカトロテックジャパン2019」に出展しました。今回の展示会では、自律走行型協働ロボット・画像処理システム・外観検査装置・小型協働ロボットを展示し、自律走行型協働ロボットの活用シーンや、人手に頼っている検査分野での省人化をご提案しました。今後も、当社のコーディネート力を活かしてお客様の自動化・省人化に貢献します。



### 女子プロゴルファー蛭田みな美選手と所属契約を締結

2017年からスポンサー契約を締結していた女子プロゴルファーの蛭田みな美選手と、新たに所属契約を締結しました。2019年はLPGAツアーで既に3度トップテン入りを果たし着実に実力を発揮しています。今後は、ユアサ商事ロゴ入りのウェア、キャップなどを着用し、国内外のトーナメントに出場いたします。これからも、さらなる成長を目指し挑戦を続ける蛭田みな美選手の活動を応援してまいります。

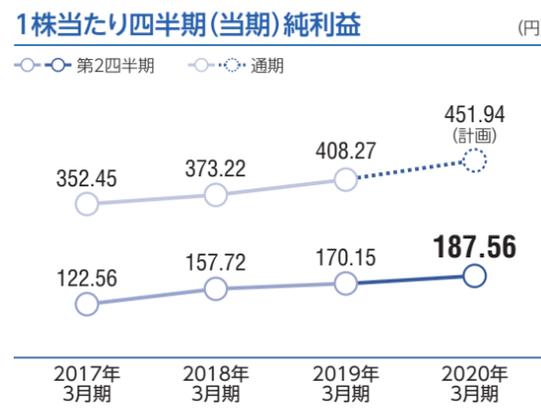
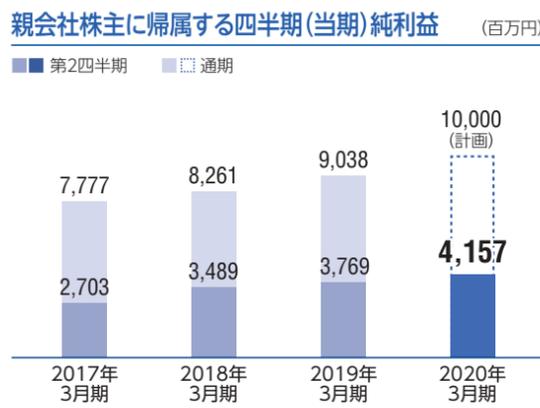
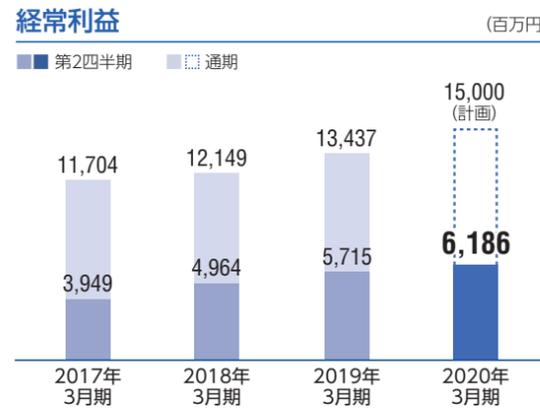


**2020年3月期 第2四半期のポイント**

**売上高** 国内の経済は緩やかな回復基調が継続しており、建設・住宅分野では、都市部における民間設備投資、公共設備投資は引き続き堅調に推移しました。海外では、中国市場における設備投資需要の減速が続きましたが、インド・ベトナム・インドネシアなどのアジア新興国では緩やかな回復が継続しました。その結果、売上高は前年同四半期比 **7.3%増** の **2,428億13百万円** となりました。

**配当金** 1株当たり70円とさせていただきます。期末配当金につきましては1株当たり80円、中間配当と合わせて年間**150円** (株主還元率 **33.2%**) を予定しております。

**自己資本比率** 自己資本比率は、前期末の30.9%から3.0ポイントアップの **33.9%** となりました。



会社概要

商号 ユアサ商事株式会社  
YUASA TRADING CO.,LTD.  
本社 東京都千代田区神田美土代町7番地  
創業 1666年(寛文6年)3月  
設立 1919年(大正8年)6月25日  
資本金 20,644百万円  
従業員数 2,189名(連結) 1,036名(単体)

取締役及び監査役

代表取締役社長	田村 博之
代表取締役専務取締役 経営管理部門統括 兼 地域・グループ担当 兼 輸出管理委員会委員長 兼 倫理・コンプライアンス委員会委員長 兼 内部統制委員会委員長	佐野木晴生
専務取締役 住環境マーケット事業本部長 兼 ユアサプライムス株式会社代表取締役会長 兼 友工商事株式会社代表取締役会長 兼 ユアサクオビス株式会社代表取締役会長	田中 謙一
常務取締役 工業マーケット事業本部長 兼 海外事業推進担当 兼 株式会社国興代表取締役会長	高知尾敏之
取締役 経営管理部門副統括 兼 総合企画部長 兼 営業支援室長	高橋 宣善
取締役 建設マーケット事業本部長 兼 ユアサマクロス株式会社代表取締役会長 兼 東洋産業株式会社代表取締役会長 兼 ユアサ燃料株式会社取締役 兼 ユアサ木材株式会社取締役 兼 YUASA CONSTRUCTION EQUIPMENT SDN.BHD.取締役	中山 直美
取締役 東部住環境本部長 兼 浦安工業株式会社代表取締役会長 兼 ユアサクオビス株式会社取締役	広瀬 薫
取締役 機械エンジニアリング本部長	佐古 晴彦
社外取締役	前田 新造
社外取締役	戸谷 圭子
監査役(常勤)	水町 一実
監査役(常勤)	古本 好之
社外監査役	鶴田 進
社外監査役	本田 光宏

(注) 社外取締役を除く取締役は執行役員を兼務しております。

国内ネットワーク

国内拠点  
31拠点(8支社、12支店、11営業所)

主な国内関係会社

産業機器	株式会社国興
工業機械	ユアサテクノ株式会社 ユアサプロマテック株式会社 ユアサクオビス株式会社 友工商事株式会社
住設・管材・空調	浦安工業株式会社 株式会社マルボン 株式会社サンエイ フシマン商事株式会社
建築・エクステリア	東洋産業株式会社
建設機械	ユアサマクロス株式会社
エネルギー	ユアサ燃料株式会社
その他	ユアサプライムス株式会社 ユアサ木材株式会社

海外ネットワーク

主な海外関係会社

湯浅商事(上海)有限公司	中国
深圳国孝貿易有限公司	中国
國孝(香港)有限公司	中国
YUASA TRADING (TAIWAN) CO.,LTD.	台湾
YUASA TRADING (THAILAND) CO.,LTD.	タイ
PT. YUASA SHOJI INDONESIA	インドネシア
YUASA MECHATRONICS (M) SDN. BHD.	マレーシア
YUASA TRADING (PHILIPPINES) INC.	フィリピン
YUASA TRADING VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム
YUASA TRADING INDIA PRIVATE LIMITED	インド
YUASA-YI, INC.	米国
YUASA SHOJI MEXICO, S.A. DE C.V.	メキシコ

株式の状況

発行可能株式総数…………… 40,000,000株  
発行済株式総数…………… 23,155,882株  
(自己株式880,561株を含む)  
株主数…………… 8,151名  
※単元株式数は100株であります。

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	2,230	10.01
日本マスタートラスト信託銀行(株)	1,254	5.63
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	916	4.11
ユアサ炭協持株会	770	3.45
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	650	2.91
西部ユアサやまざみ持株会	612	2.75
(株)三井住友銀行	594	2.66
東部ユアサやまざみ持株会	575	2.58
ユアサ商事社員持株会	453	2.03
ダイキン工業(株)	452	2.02

1. 千株未満は切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。  
3. 当社は自己株式880千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。  
4. 上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。  
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 2,230千株  
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 1,254千株

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当金 受領株主確定日	3月31日	
中間配当金 受領株主確定日	9月30日	
定時株主総会	毎年6月	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)	
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部	
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.yuasa.co.jp/ir/index.html">http://www.yuasa.co.jp/ir/index.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)	

### ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

健康経営優良法人（ホワイト500）に認定 & 『くるみん認定』を取得しました



## レジリエンス特設サイトのご案内 災害対策を見直しませんか？

当社グループは、2012年より社会インフラの強靱化（レジリエンス）につながる防災・減災、事業継続に関する商品、サービスの普及に継続的に取り組んでおります。豊富な商品群、全国を網羅する配送網、専門組織によるコンサルタントといった強みを活かし、「安心・安全な社会の実現」を目指してまいります。



レジリエンス特設サイトURL

<https://resilience.yuasa.co.jp/>

ジャパン・レジリエンス・アワード5年連続受賞

レジリエンス認証取得



QRコード

スマートフォンから  
ご覧いただけます



この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。